

2013年産プルーン市況



2013年5月に米国農務省全国農業統計局(USDA-NASS)によってカリフォルニア産プルーン総ベアリングエーカー(収穫可能面積)の60%を占める271軒の農家を対象に聞き取り調査が行なわれ、2013年産の収穫予想量は10万5千ショートトンになると発表されました。

2013年産クロップの開花は良好な天候と雨量のおかげで順調に推移しました。2週間以上安定した天候が続き、受粉も滞りなく行なわれましたが、前年産の収穫終了後に他作物への転作が進んだ影響で、総ベアリングエーカーは5万千エーカーと7%ほど減少する見込みです。よって収穫予想量は前年13万8千ショートトンと比較し24%減の10万5千ショートトンと予想されました。

また、南半球においても、プルーンの供給量はタイトになっており、チリ産プルーンは天候不順の影響で前年比30~45%減産の5万トン程度にとどまる見込みです。

一方、消費面では、アメリカ・カナダの国内需要が前年比15%減となっていますが、輸出は前年比5%増で推移しています。

アジア、ヨーロッパ圏向けの輸出が落ち込んでいますが、ロシア(前年比46%増)、ウクライナ(前年比839%増)など、旧ソ連圏への輸出が大きく増加したに事よるものです。

これを受けて、前述の通り近年のベアリングエーカー減少を背景に農家が強気な姿勢になると見られるため、カリフォルニア産プルーンの価格は値上げとなる可能性が高いと予想されています。